

公共事業事前評価調書(平成27年度予算要望)

所管課: 道路街路課

担当班: 企画調整班

事業名	糸満与那原線(東風平～屋宜原)道路改築事業	事業区分	道路事業	事業主体	沖縄県
事業箇所	八重瀬町東風平地内～屋宜原地内				
事業の諸元	道路改築 L=1.0km W=20m				
事業の概要	<p>糸満与那原線は、沖縄本島南部地域を南北方向に延びる国道331号や奥武山米須線、国道507号、南部東道路、並びに東海岸の国道329号等を東西方向に相互に連結する主要地方道である。</p> <p>当事業は、東風平(北)交差点付近から屋宜原交差点(仮称)までの区間(L=1.0km)について、歩道の拡幅や停車帯の設置、交差点改良等を行う道路改築事業である。</p>				
事業の必要性・効果等	<p>(必要性等)</p> <p>当該箇所周辺は、小・中学校や役場庁舎が近接立地し、また、国道507号津嘉山バイパスの供用開始や屋宜原、伊覇地区の区画整理によりまち並みが形成される等、市街化が加速している。また近年、大型商業施設2店舗の開業や八重瀬町道の開通に伴い、当該道路屋宜原交差点(仮称)付近では以前にも増して渋滞し、車両の円滑な通行に支障が生じている。更に、歩行者も増えているが、現況の狭い歩道により通学・通勤等に不便を余儀なくされている。</p> <p>当該路線は、平成5年2月に3・4・78東風平中央線として都市計画決定され、現在まで土地利用が規制されており、以上の事などから早期に整備を行う必要がある。</p> <p>(効果等)</p> <p>整備により円滑な車両の通行が図れるとともに、歩道の拡幅や停車帯の設置等で安全で快適なゆとりある道路空間の創出に資することができる。</p>				
事業期間	事業採択	平成 27年度	完了(予定)	平成 31年度	
全体事業費	10.7 (億円)	補助・単独の別	補助	補助率	9/10
事業着手の熟度・上位計画との整合性	<p>本路線は、沖縄21世紀ビジョン基本計画で「地域特性に応じた生活基盤の整備」、沖縄県総合交通体系で「ハンゴ道路をはじめとする幹線道路ネットワークの整備」、沖縄県広域道路整備基本計画(平成5年策定)で広域道路(地域形成型)に位置付けられている。また、当該区間内にある屋宜原交差点(仮称)は「沖縄地方渋滞対策推進協議会」において、主要渋滞箇所にて特定されている。</p> <p>更に本路線は、平成5年2月に都市計画決定後、区画整理事業や道路事業により整備が進んでおり当該箇所が最終の工区となるため、円滑な事業着手が望まれる。</p>				
環境への配慮	<p>当該路線区域周辺は区画整理された良好な生活環境となっており、通学、商業施設へのアクセスのため、ゆとりある歩行空間を確保し、歩道植栽により景観への配慮を行う。</p>				
関係する地方公共団体等の意見	<p>平成25年4月に八重瀬町より早期整備の要請書が提出され、八重瀬町議会からも要請決議書が提出されている。</p>				
概要図(位置図)					